

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

寮父母職員 採用試験の ご案内

― 八色園 ―

特別養護老人ホーム八色園に勤務する寮父母職員の採用試験を次のとおり行います。

●受験資格

地方公務員法の欠格事項に該当しない者

●受験手続

受験申込者は、次の書類を提出して下さい。

- ・履歴書一通(市販のものに自筆で記入のこと)
- ・写真(脱帽上半身・縦四×横三cm)

・申込期限：平成四年十二月二十日(当日消印有効)

●試験方法

地方公務員として必要な一般教養、作文の筆記試験及び面接を行います。

●試験日

平成五年一月十六日(出)

●合格者

試験合格者は採用候補名簿に登録し平成五年四月一日以降平成六年三月三十一日までの間に職員欠員又は増員の必要が生じた時、登録順に採用します。

●受験申込先
南魚沼郡大和町浦佐四〇六
特別養護老人ホーム八色園
八色園長宛
※詳細については八色園(☎三三〇七三六二)へ

登記・戸籍手数料改定 のお知らせ

来年の一月一日から

平成五年一月一日から登記簿、戸籍等の「謄本」等の手数料が次のように改定されます。

■登記簿

- 一、登記簿の謄本、抄本、登記事項証明書 一通八〇〇円
- 二、登記簿又はその附属書類の閲覧(登記用紙)四〇〇円
- 三、地図又は建物所在図の全部又は一部の写し 一筆(個)四〇〇円
- 四、地図又は建物所在図の閲覧 一枚四〇〇円
- 五、印鑑の証明書 一件四〇〇円

■戸籍等

- 一、戸籍謄抄本一通四〇〇円
- 二、除籍謄抄本一通七〇〇円
- 三、戸籍に記載した事項に関する証明 一件三〇〇円
- 四、除籍に記載した事項に関する証明 一件四〇〇円
- 五、届出・申請の受理又は届書その他の書類の記載事項の証明書 一通三〇〇円
- 六、上質紙を用いた受理証明書(婚姻等の届出)

お年寄りの 心の相談会

高齢化社会の中、ボケと言われる症状をもつ人がふえています。日頃困っていることを御相談下さい。

◆日時

平成四年十二月十六日(水)
午後一時三十分～三時三十分

◆会場

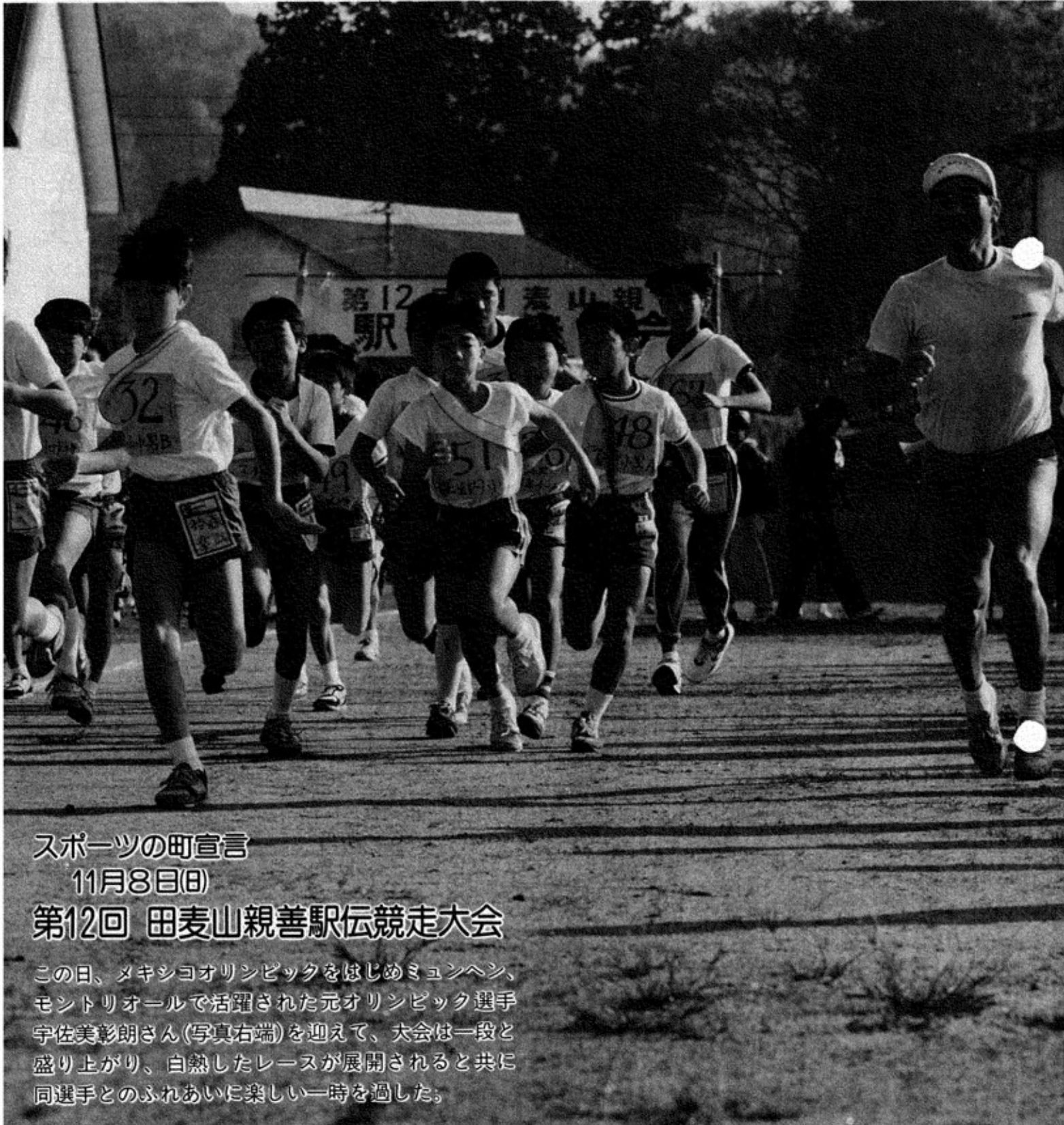
小出保健所

◆対象者

現在、お年寄りの問題行動(ボケ症状、出歩く、不眠、物忘れがひどいなど)でお困りの方

◆内容

専門医による相談・助言
※希望者は、小出保健所、保健指導係まで御連絡下さい。
(☎三三〇九二二一・一四四五)



スポーツの町宣言 11月8日(日)

第12回 田麦山親善駅伝競走大会

この日、メキシコオリンピックをはじめミュンヘン、モントリオールで活躍された元オリンピック選手宇佐美彰朗さん(写真右端)を迎えて、大会は一段と盛り上がり、白熱したレースが展開されると共に同選手とのふれあいに楽しい一時を過ごした。

工業統計調査にご協力を!!

12月31日現在で「平成4年工業統計調査」が実施されます。この調査は、我が国の工業の実態を調査し、中小企業対策をはじめ各種行政の立案のための基礎資料を得ることを狙いとした国の重要な統計調査です。後日調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力下さるよう宜しくお願いします。

一通一、三〇〇円
七、届書その他の書類の閲覧 一件三〇〇円

人口	6,369人	平成4年11月20日現在
男	3,113人	
女	3,256人	
世帯数	1,518戸	

おもな内容	平成4年度町政功労者を表彰……………	2～3	税に関する中学生の標語……………	12
	生涯学習フェスティバル……………	4～8	スポーツコーナー……………	15
	川口中で立志式……………	9	川口中で収穫感謝祭……………	16～17
	田麦山駅伝競走大会……………	10～11	お知らせコーナー……………	18～20



▲「表彰式」

平成四年度

町政功労者を表彰

自治振興に貢献された個人六人に

文化の日十一月三日、町褒賞条例に基づく、平成四年度の町政功労者の表彰式が、役場議場で行われ、町の自治振興に貢献された方個人六人に、青柳町長からそれぞれ表彰状と感謝状、記念品が贈呈された。



▲「記念撮影」

彰しているものです。

今年度表彰された方は、個人六人で、国民健康保険運営協議会委員、社会教育委員を長年務め、国民健康保険の運営、社会教育の振興に貢献さ

れた中林只二さんをはじめ、長年にわたって民生児童委員を務め、地域住民の暮らしと福祉の相談役として、福祉の増進に貢献された桜井藤雄さんや、水難事故の捜索などに献身的に取り組まれた中林牛太郎(小型船舶操縦士会長)さん、町消防団の充実発展に貢献された小宮山正文さんなど六人。

国民健康保険 社会教育振興に



中林只二さん (川口3・70歳)

現在、国民健康保険運営協議会委員(同会長)及び社会教

地域福祉の 充実に



桜井藤雄さん (上河原・60歳)

昭和五十二年に民生児童委員に就任、十五年間にわたり地域福祉の相談役として、行政のパイプ役として活躍すると共に、福祉に対するニーズの増大する中において、社会奉仕の精神をもって、保護指

育委員。変動する医療費の動向、その財源である保険料の賦課などに卓越した識見により、厳しい財政状況にある、国保財政の安定に貢献すると共に、社会教育の重要性を認識し、意欲的に取り組みを行うなど、社会教育の振興に貢献された。また、中林さんは、町交通安全協会役員をはじめ、町の伝承行事の武者行列保存会長を務めるなど、各分野で活躍されています。

水難救助活動 河川事故防止等に



中林牛太郎さん (川口3・87歳)

当町は、魚野川・信濃川の二大川を有しており、その水難事故の捜索に献身的にあたり、また、河川事故防止や救助活動の組織充実をはじめ、安全な川、きれいな川をめざして、河川美化や親水運動などにも積極的に活動を展開すると共に、防災救助活動に川船一隻を町に寄贈するなど、行政に積極的に協力された。また、中林さんは、老人クラブの会長をはじめ連絡長を長年務めた功労により、昭和五十八年に町政功労者表彰を受章された。

消防防災 活動に



小宮山正文さん (新敷・47歳)

昭和四十四年町消防団に入団、消防歴二十三年の長きにわたって消防活動に従事。この間副団長を歴任、犠牲的奉仕の精神をもって消防業務にあたり、民生の安定に貢献すると共に、幹部として団員の指導にあたるなど、町消防団の充実発展に尽力された。

自治行政の 発展に



関 公一さん (相川口・57歳)

昭和三十七年町役場職員と

自治行政の 発展に



大淵富一さん (川口3・52歳)

昭和三十七年町役場職員として奉職。秘書室長、町民課長、土木課長を歴任。長年にわたって職務に精励し、自治行政の発展に貢献された。

川口町褒賞条例(抜粋)

第一条 この条例は、町長が町の政治、経済、文化、社会、その他各般にわたって町政振興に寄与した者、若しくは衆人の模範となるべき者又は、町の行政に積極的に協力した者を褒賞し、もって町の自治の振興を促進することを目的とする。

外国人登録法の改正

永住者と特別永住者の指紋押なつ制度を廃止



されることになります。

<家族事項の登録>

日本に滞在している父母と配偶者の氏名、生年月日および国籍、さらにその人が世帯主である場合は、世帯を構成する人の氏名、生年月日、国籍および世帯主との続柄を登録します。

なお、家族事項に変更が生じた場合、外国人登録上の諸申請のうち最初の申告を行うときまでに変更登録の申請をしなければなりません。

<写真の官側撮影>

外国人が外国人登録上の申請を行う際に提出する写真については地方入国管理局(またはその支局、出張所)において、本人の希望により写真撮影が受けられるようになりました。

<新しい登録証明書>

外国人に交付される登録証明書を、最新の技術を用いて写真や指紋・署名および文字をプラスチック・カード上に印刷するものとし、携帯に便利のようにキャッシュ・カードと同じサイズに小型化しました。

詳しいことは、最寄りの町役場でお尋ねください。

日本に一定の期間滞在する外国人の方は、本人の身分や居住関係を登録する必要があります。この手続きを定めた法律が外国人登録法です。

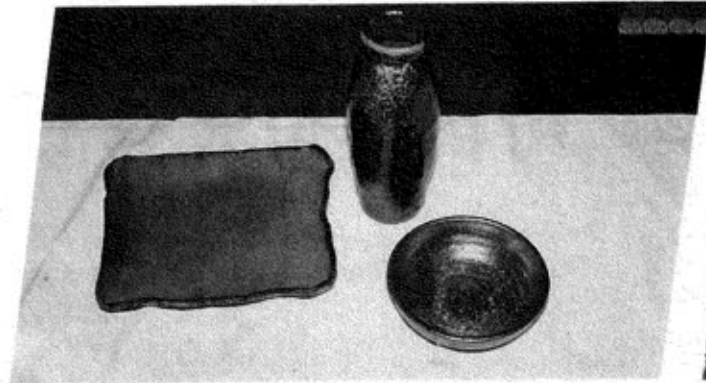
ところで、この法律がこのほど改正されることとなり平成5年1月8日から施行されます。今回の改正では、どのような点が変わるのでしょうか。

いちばん大きな改正点は、これまで実施されてきた指紋押なつ制度が、永住者および特別永住者について廃止されることです。わが国において永住の在留資格をもつ外国人(永住者といいます)と、終戦前から日本に移住していた平和条約国籍離脱者、およびその子孫で法律の規定により永住資格が与えられた方(特別永住者といいます)は、指紋押なつに代わって本人の署名や写真、家族に関する事項を登録することになりました。

具体的には、次の通りです。

<署名制度>

16歳以上の永住者および特別永住者は、新規登録など登録証明書の交付をともなう申請を行う場合、申請書の提出と同時に外国人登録原票と署名原紙にそれぞれ署名をします。交付される登録証明書にはその署名が転写



▲「木沢焼展」



▲「書道展」



▲明治、大正、昭和の秘蔵写真を公開



▲自作コメディもあり熱演熱唱に大喝采!!



▲「菊花展」

**好評だった
ふるさと
100年写真展**

明治、大正、昭和の秘蔵写真を公開した写真展は、古い写真を所蔵する方がたの協力を得て大きく引き伸ばした百五十点に説明をつけて展示したもので、大変な人気を集め、町内外から大勢の人がつめかけ好評でした。

明治初期のちよんまげ姿から昭和三十年代までの写真を

みると、ふるさと川口の百年の間に風俗や生活様式の移り変わりがよく解ります。また、写真の中に何代も前の人、知人や自分の顔をみつめてそれが話題となり、何度も足を運んでくれた人もいたようです。

いる出演者は大張切りで熱演し、ほとんどが趣味の範囲を超えたすばらしい芸に大きな拍手がおくられ、盆踊唄や自作のコメディもあって楽しいひと時をすごしました。

- ◆町長賞** 内藤 正雄 (川口二)
- ◆議会議長賞** 鈴木 融 (川口五)
- ◆農協組合長賞** 江島 正直 (貝の沢)
- ◆教育長賞** 小宮山宗平 (新敷)
- ◆菊花会長賞** 渡辺 正義 (川岸)
- ◆郵便局長賞** 内藤 一作 (川口六)
- ◆たかべん賞** 水落佐一郎 (大形)



▲「ジュニア展」



▲「木沢焼展」



▲マラソン人生を語る宇佐美選手 (現在、東海大教授)

今は東海大学教授として後進の指導に当たっておられます。

残しました。

十一回優勝のすばらしい業績を

公認マラソン四十一回完走、内

当分の日本記録

秒八のタイムは

時間十分三十七

佐美氏の持つ二

クにも出場。宇

ルのオリンピック

とモントリオール

の後ミュンヘン

を勝ちとり、そ

の勝ちは、その

を勝ちとり、その

を勝ちとり、その

**生涯学習
フェスティバル!!**

いきいきと

学習の成果を発表

趣味をもつこと、スポーツを楽しむこと、グループ活動など自分にできる学習で生きがいのある人生をめざしまし

よう、と呼びかけた平成四年の生涯学習フェスティバルは、十一月一日から八日までの期間で開かれ、九種類の行事に

保園児から高齢者までの幅広い年代層の方から協力をいただき、それぞれの行事に大勢の町民が参加して行われました。

文化講演会

オリンピックランナー
宇佐美彰朗氏を
迎えて

フェスティバルの中心行事は文化講演会で、新潟県が誇るマラソンランナーの宇佐美彰朗氏が、小学生から高齢者までを前にしてマラソン人生を語り、聴衆を魅了しました。

宇佐美氏は吉田町の出身で「ひとより一汗多く」をモットーにしている方で、自分でマラソンの素質を見つけ出し、血の出るような努力を重ねてメキシコオリンピックの代表

を勝ちとり、その後ミュンヘンとモントリオールのオリンピッククにも出場。宇佐美氏の持つ二時間十分三十七秒八のタイムは当時の日本記録公認マラソン四十一回完走、内十一回優勝のすばらしい業績を残しました。

今は東海大学教授として後進の指導に当たっておられます。

生涯学習フェスティバル

第四回 町民俳句大会

(在東京) 車次郎さん 雪次郎さん 野張き 星野雪車

町長賞



十一月八日(日)、福祉センターで、第四回町民俳句大会が開かれた。この日、午前十時から式典の部が開始。桜井教育長の挨拶の後、応募作品の入選発表が新宮山柴さんによって行われた。投句者32名。大内迪子先生のご選により、入選75句、特選11句、特々選3句。特々選三名の入選者には恒例の町長賞が贈られた。第一席は東京から応募された(西川口出身の)星野雪車さん。本名は三代吉64歳。俳句は若くから兄の玲川さんと共にやっていた。約三十年前に上京。身体障害を克服し

て、紳士服縫製業を一貫して立派にやって来られた。町の老人クラブ俳句教室の熱心なメンバーだった玲川さんが病にたおれた時、おれに代って出句だけでもしてくれ、という願いをうけて、かわぐち俳壇でもお馴染みになっている雪車さん。 続いて、本年はお出で頂けなかった、大内迪子先生の懇切なご選評を、山柴さんにより代読。迪子先生の親切な選評は俳壇でも定評があり、目の前に先生が居られるような思いで傾聴した。午后の部の句会を期して式を終了。

応募作品 (大内迪子先生御選)

●特選(町長賞)

野仏にいま光背の花すすき 出来の良き早稲をほめつつ刈つてをり 散り初めていよいよ萩の盛りかな

星野雪車 覚張次郎 星野きの

●特選

色鳥の数多来てある一樹かな 芋の露ころげこぼさぬ程の風 丁寧な掃き終りたる稲架のあと 誰も居ぬ縁に歳時記ホ句の秋 渡舟場の跡をとどめて芒原

星野雪車 喜多村 暁 丸山静流 関 紫苑 山田久子

選後に 大内迪子

みなさま、とてもいい句が多くて、そちらの道を歩いて いるような気分になりました。 どうか皆さまお元気で俳句 をおつづけ下さいませ。 いくつか又お目にかかるのを たのしみにはしています。

只今、主人、保坂伸秋は、 富安風生全集の十巻目の追込 みにかかって、毎日その仕事 に精出して、今回一寸メ ッセージも書けない状態です のでお許し下さいませ。 テープに録音ということで したが、テープの機械が故障 して修理に出しているところ で失礼申し上げます。

みなさまの御健吟を心より おいのりしています。(別信)

野仏にいま光背の花すすき

星野 雪車

雨や雪や野分に晒されてい た野の仏様に、今、芒が穂に 出て来た。一面の芒の中に野 仏の御顔に微笑がうかんでい るような感じがする。朝日夕

病友の逝きし便りに秋時雨 朝靄の徐々に晴れ行く山の秋 晴れし日の夕暮れ近く赤とんぼ 梅雨明の朝靄こめし魚野川 散り敷きて夜も匂ふや栗の花 築守の鮎焼く匂ひ立てにけり 花蕎麦に黄蝶の遊ぶ日和かな 十六夜の月昇り初む刈田かな 胡麻和の山うど強く匂ひけり 休診の 大看板も 玉蘭盆会 法師蟬一声退院の句を作る 稲雀追はれとび立ち又戻る 廃屋に季節忘れずちちる鳴く

同 宮 ミヨ 同 平沢かおる 同 平沢静雲 同 喜多村イキ 同 丸山以外史 同 大野若葉 同

日にかがやく芒はまるで光背 の音もきこえるようで、頭の ようだ...という作者の喜 びと愛がある。素朴な広々と した淋しい中にも明るい景が 十七字の短い中に余すことな く表現出来た。

出来のよき稲をほめつつ刈つ てをり 覚張 次郎

種下しからはじまって田起 し、畦塗、田植、草取と、細

い裏作業の果に、収穫期を迎 えた。朝に夕に、吾子を見る

ように気を配って育てた稲が よく稔った。刈り取り乍ら、

一株一株に「よく出来てくれ たね」と声をかけている。機

械刈りの多いこのごろの手刈

に銀の露の玉がころころと今

もう咲いているころかと萩 を訪ねてみるとはや散りはじ めていて、禿のように茂った 萩は時折風に煽られ花の盛り を極めていた。ただそれだけ の景なのであるが、これから 萩の盛りという感じを詠みき っけて、清々しい。

芋の露ころげこぼさぬ程の風

喜多村 暁

朝の畑を見廻ると、芋の葉

に銀の露の玉がころころと今

かな 星野 きの

秋の蟬鳴き細りつつ遠く近ちに 黄の牡丹咲く珍らしと蝶が舞ふ 一つ成し一つ忘れて秋となる 乳母車の児が泣いてゐる暮早し 戸の外にとれし大根を置いてあり 減反に失せし棚田の虫の声 秋夜長本読む孫の 声響き コスモスに日当る刻をいとほしみ 知らぬ間に赤き椿の咲いて居り 台風の転がし過ぐる植木鉢 初冬の川に 一羽の 鷺飛翔 きざまれし墓碑銘濡らす秋の雨

秋のさしている広縁に歳 時記が置いてあって誰も居な い。さっきまで歳時記を読み 庭を見て句を案じていたのだ が用が出来て起っていった。 そのあたりの静かな景と、あ るゆとりと、人の動きまで、 静の中に見えて来る。 渡舟場の跡をとどめて芒原 山田 久子

誰も居ぬ縁に歳時記ホ句の秋 関 紫苑

同 関 よし 同 三輪京子 同 星野一夢 同 宮 ヨキ 同 小西シゲノ 同 星野ヒロ子 同

と添削してみた。御一考下

さされば幸甚。

かなかなの鳴かぬ日は無し杉

木立 山田 マス

家の後か、前かの杉木立。少しうす暗い位のところ、毎日かなかなを聞くようになったという。かなかなは、遠い過ぎた日々を戻してくるようだ。鳴かぬ日は無しというので閑散とした景も、うかんでくる。

括られて露に枝垂る庭の萩

覚張 正司

一読、平凡なような、何でもないことのようにあるが、朝の、びっしりと露を含んだ萩叢がよく捉えられている。括られていながら露の重さに耐えられぬという風情。

減反の解かれぬままに豊の秋

星野紗都女

この頃、日本中どこへ行っても休耕田が目立ち、草茫茫の田、コスモスばかり植えてある田とかがある。切角肥沃な田圃を……と淋しいおもいがする。なかなかその掟の解かれぬまま、豊の秋を迎えた。あるなげきと豊作のよろこび

とが混交し、佳句になつていく。

蝸や泣く子思へば乳房張る

喜多村キヨ

作者の年令がわからないが、これは昔の自分を思い出しているのかと思われる。田仕事に出て懸命に働き、夕蝸が鳴いた。はつと家に置いておしよりに頼んだ吾が子を思った。乳を欲しがっている頃だと思つたとたんに、乳が張つてきた……女のかなしさが、ひしひしと伝わってくる。心打たれる句。原句、「思へば張る乳房」であったが、乳房張るとした方がなめらか。

目を太く描けば案山子に生命

入る 上村たつお

案山子を作るといふ仕事は楽しいことかと想像する。案山子はその作者に似るといふのは、目が大きく眉が太いのかと連想する。そして太く目を入れたとたん、案山子が生きたように思えた。実感の尊い句。

山路来て小さき秋を見つけた

り 内山 松月

家に居るときはさほど感じなかつたが、山道を歩くと、

当日句会

町民俳句大会 午後2時

午後二時〇〇切りで、参加者二十名。五句投句、五句選。清記から選句へと進むと、びーんと張りつめた緊張したひと時。披講に入り高らかな名のりが上がる。最後に修庭史さんから選句の発表と選評があつて、第四回町民俳句大会の午後の部、当日句会は楽しく終了。山柴記

△三点句以上▽

裸木の傷の記憶のはるかなる たつお
そよ風に尾花たわむる無人駅 松月
三山を遠くに仰ぐ刈田かな 若葉
牧場へ通ふ細道草もみぢ 同
胡桃干す音がころげる道向い キヨ
いのころも赤のまんまもみぢさし 修庭史
銀杏散るまでに間のある寺の道 よき
無造作に括られ菊の盛りなる 雪車
柿熟るる里に一日検診車 たつお
振りむけば振りむかれ居り七五三 紗都女

△特選▽

それらしき碑の前石路の花 雪車
峽烟を日がかすめゆく大根引く たつお
裸木の傷の記憶の遥かなる 同
紅すこしさして目立ちぬ木葉髪 キヨ
うら枯れの果にひつぢ田二三枚 修庭史

松月選

雪車
たつお
紗都女
修庭史

野菊に会つたり、はや芒が穂に出かかつたり、木の実が色

△特選▽

ふりむけばふりむかれ居り七五三 紗都女
無造作に括られ菊の盛りなる 雪車
焚火もえ焼藪大会保育園きのの 五七五孫も指折る菊日和 ひさ子
銀杏散るまでに間のある寺の道ヨキ

修庭史選

互選

あかいたち野菊のこみち横切りぬ マス
のみを研ぐロ一文字秋深し 京子
大輪の菊を飾りて芸能祭 トキ
雲たれて遠くは雨か秋桜 松月
尾根越えて落葉舞い来て池に散る 次郎
初霜にたまげ漬菜を洗ひけり シゲノ
稲埃かむる草むらちちろ鳴く イキ
しとしと刈田の雨の音もなく トシ
菊花展審査手間どる鉢多く 一峰
芋を干す大中小と蓮分け 山柴
孫抱いてゐる手の重さ秋深し よき
句の友の賞を貰ひし菊花展の 初孫にまぶしき小春授かりし キヨ
大川をくの字に仕切り下り築よし
柿熟るる里に一日検診車 たつお
澄む水の大河に出合ふところかな 雪車
無造作に括られ菊の盛りなる 同
神の留守通りがかりに詣でけり 紗都女
三山を遠くに仰ぐ刈田かな 若葉

△特選▽

大名等が泊った本陣宿の木札
と古文書類、木沢焼の写真と
作品を展示して、一か月間
江市民に公開したものです。
期間中に市民まつりなどもあ
り好評だったようです。

狛江市で「ふるさと文化交流展」

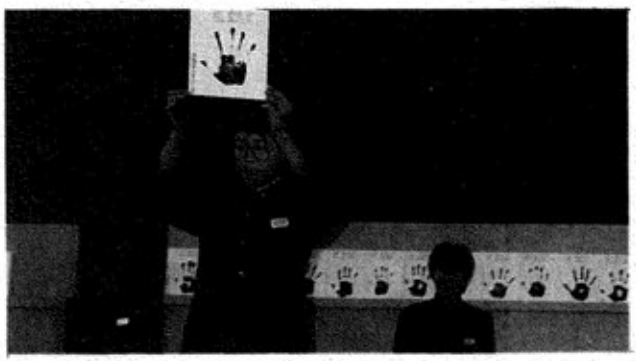
友好都市提携 五周年を記念して

狛江市と当町の友好都市交流五周年を記念した「ふるさと文化交流展」を、狛江市役所二階で開催しました。これには、当町の三国街道川口宿に因りた木沢焼きを展示（狛江市役所で）文化を通して友好を深める。

川口中学校で二年生を対象に「立志式」を行い、これまでの成長を祝うと共に新しい気持ちで目標を立て、たくましく生きて行くことを誓いました。

十四歳は大人になる節目

中学二年は十四歳に当たる年で、十四年間を無事に成長したことを親と子で祝い、将来の目標をどのようにみつつけ対応していくかを考えさせ、人間としての生き方の心構えを持たせることを狙いとしているもので、立志式は今年で五



▲手形をかかげて決意を表明

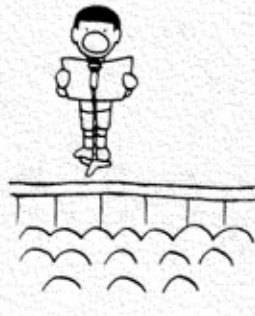
式の意味を話し、三人の保護者がそれぞれの立場で生徒を激励。生徒からはクラスを代表する六人が立志の決意や将来の希望などを表明しました。

手形を残し 努力を誓う

最後に生徒一人ひとりが中央で色紙に手形を押し、保護者に高く掲げ、全員が立志の誓いをみせてくれました。また、「十四歳の私、親から子へ」の記念文集が刊行され、文集には親が自分の子に向けてあなたに伝えておきた

立志式で自立を促す

川口中で挙式



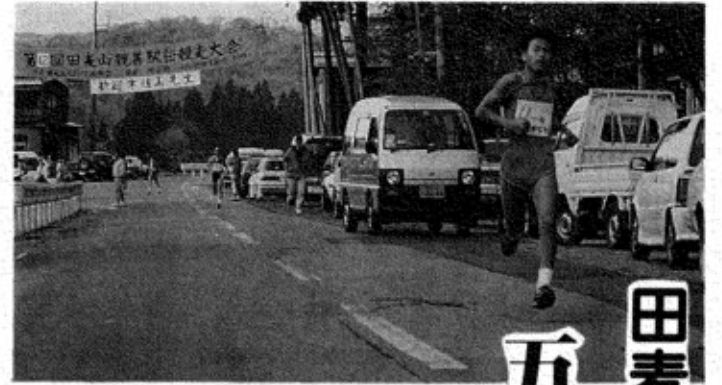
いこと、こんな人間になってほしいの短文が書かれ、生徒は十四歳の私が努力していることや、これからの希望や夢が書かれています。



▲親も参加した立志式



▲三国街道川口宿や木沢焼きを展示（狛江市役所で）文化を通して友好を深める。



田麦山駅伝

五十二チームが参加

健脚を競う!!

田麦山
スポーツ
振興会

ランナーとのふれあいに、参加者らは有意義で楽しいひと時を過ごした。そして、同大会で最優秀ランナーに贈られる宇佐美賞が、直接本人から手渡されるなど、ビッグな一日となり、大会はこれまでにない盛会となった。

今年で第十二回
同大会は、田麦山スポーツ振興会が、昭和五十三年の東京川口ノンストップ駅伝を記念して、地区民らの体力向上と走る仲間づくりを目指して始め、毎年この時期に開か

れているもので、今年で第十二回を迎えた。
チーム優勝と自己記録更新を
目指して力走
この日は、天候に恵まれてさわやかな日となり、絶好の駅伝日和となった。町内の小・中学生チームをはじめ、スポーツ少年団チームなど、未だの来マラソンランナーが続々と集合。地元三十チームに、近隣市町村から二十二チームがエントリーし、いやがうえにも大会は盛り上がる。チーム名もバラエティに富み「なかよし」



▲「力走」小学生と一緒に走る宇佐美先生

元オリンピック選手 宇佐美彰朗先生 を迎えて盛會に

十一月八日(日)、田麦山親善駅伝競走大会(主催/田麦山スポーツ振興会・森山正夫会長)が同地区で開催され、一般小学生ら五十二チーム約三百人の選手らが参加して、駅伝で健脚を競った。また、この日、元オリンピック選手の宇佐美彰朗先生(現東海大教授)を迎えて、ミニ陸上教室や先生を囲む会が催され、陸上指導やマラソンの話しなど、名



▶ピストルを合図にスタート



▲小学生の部 (8.5キロ)



▲一般の部 (16.4キロ)

や「走遊レディーズ」、「スーパーモンモンズ」、「田舎軍団」、「長岡ランナーズ」など、思い思いのチーム名で参加、和気合々の仲で、各チームとも去年の雪辱を果そうと闘志満々。
レースは、一般十六・四キロ(五区間)、小学生ら八・五キロ(五区間)のコースで争われ、タスキで中継。応援を受けて選手は、チーム優勝と自己記録の更新を目指して力走。今年も白熱したレースが展開された。



▲「中継点」去年の雪辱を目指して...



▲早く走る秘訣を伝授?



▲「宇佐美賞」を本人から受けて感激!!

陸上競技教室で 指導・ふれあい

レースが終了した後、陸上競技教室が開かれ、宇佐美先生から走る基本や速く走るコツ、そのための練習方法などを、ユーモアをまじえながら、分かりやすく指導が行われた。教室に参加した各チームの選手らは、一流選手の指導に一生懸命聞き入れ、マラソンに対する新たな思いと先生とのふれあいに目を輝やかせていた。
レース結果は下記のとおり。



▲地元小学生と握手



▲真剣な顔で先生の話しを聞く小学生ら

田麦山親善駅伝競走大会結果

◎一般の部 (16.4キロ)	優勝 堀之内走友会 B	56分02秒	◎宇佐美賞 崎浜直人 (堀之内小)	(5分33秒=1.7キロ=区間賞)
準優勝 つなん	56分05秒	(小学生男女各1)	小玉唐子 (宇賀地小)	(6分46秒=1.7キロ=区間賞)
三位 川口中学校	56分44秒	◎小学生女子の部 (8.5キロ)	優勝 宇賀地小	35分33秒
◎小学生男子の部 (8.5キロ)	優勝 つなんスポーツクラブ	32分20秒	準優勝 千田小	37分20秒
準優勝 泉水ニュースーパーモンズ	32分32秒	三位 田麦山小A	37分54秒	
三位 堀之内小	32分55秒	◎女子の部 (16.4キロ)	優勝 新潟雪椿	1時間09分41秒
			準優勝 走遊レディーズ	1時間12分58秒

小千谷川口駅伝

四十七チーム参加 田麦山Aチームが 四位に

小千谷川口駅伝競走大会は三十三回も続いているもので、小千谷市体育館前をスタート。真人地区から西倉に入り、川口中学を折返して体育館までの三十三・六キロ(中学生は片道だけ)を六人で走るコースで行われ、二市三魚沼郡から四十七チーム約三百人が参加、雨の中で全チームが健闘しました。当町チームの成績は次のとおり。

- ◎一般男子
- 四位 田麦山A
- 十位 田麦山B
- ◎中学男子
- 四位 川口中A

なお、川口中Aチームの第一区間一位となっています。



税に関する 中学生の標語で表彰

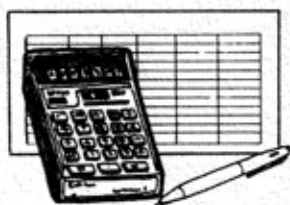
町長賞 二点 税務署長賞 一点

町租税教育並びに青色申告と租税完納促進協議会（会長・川口町長 青柳弘）では、中学生を対象に税に関する標語を募り、多数の応募作品の中から、このほど、町長賞と小千谷税務署長賞を決め表彰した。これは、町が正しい申告と



▲表彰を受ける受表彰者のみなさん。

租税教育並びに
青色申告と租税完納
促進の町宣言



町長賞

川口中二年
星野美弥子さん
未来への夢を育てる 消費税

川口中二年
河上 哲平くん
税金は 豊かな暮らしの 大きな柱

小千谷税務署長賞

川口中三年
関 耕二くん
見つめよう 税の役割 ありがとうございます

五十五万人の 人出に酔う

台風心配も去り、天高く馬肥ゆる季節——十月十七日、十八日の両日板橋区民五十二万人総参加の恒例の区民祭りが、板橋区制施行六十周年を記念し催され、五十五万人の人出に酔いました。



かり味噌・フレッシュわらび・山菜加工品・其の他豊富に取り揃え売り出しました。十二時三十分の売出しを待ちきれず、次から次への来客にてんてこ舞の売れ行きで、さい先の良さを感じながら、二時半からの華麗なパレードの始まる頃には大勢おしかけ、店前は黒山の人達で一杯となり、張り切った売り達は声を張り上げて呼びかけました。それはそれは活気が満ち溢れ、多忙の

の人達ともあって話をし、また、知人友人が次から次へと声をかけ品物を買って行きまわりました。各種民謡や音楽が強く鳴り響き、騒々と人波がゆれ流れゆき、どの店も売り込み熱をあげており、川口役場の渡辺浩さん外五名と、川口物産から山吉寛栄さんら三名の元気な若々しい呼声に「車ふはめずらしいね」とか「三角チマキは懐かしいわ」と吸い寄せられる様に買い、炭火で

翌十八日、今日も晴天で絶好のおまつり日より。八時から出店準備に入り、区本部の許しを受けて売場を広げ、笹だんごを蒸すセーロを前面に据え、湯気立つ笹のほのかな香りのただよいで、客足がとどまり「去年おいしかったので今日も買いにきました」と言う人も多く、お客も大分定着してきたように思われました。

二日目
翌十八日、今日も晴天で絶好のおまつり日より。八時から出店準備に入り、区本部の許しを受けて売場を広げ、笹だんごを蒸すセーロを前面に据え、湯気立つ笹のほのかな香りのただよいで、客足がとどまり「去年おいしかったので今日も買いにきました」と言う人も多く、お客も大分定着してきたように思われました。去年を上回る売行きに安堵の胸をなでおろし、皆一息ついて楽しく忙しく華やかな二日間を夢の様に過ごし、大成功を納めた喜びにひたり「皆さん御苦勞様でした」ほんとうによかったと、言葉

準備に入りました。青柳町長をはじめ町役場の方々の御協力、川口物産のご尽力に深く感謝し、来年は更に売上を伸ばす創意工夫をこらしたいなどと思ひ、川口町の更におしみつ自宅へ帰った次第です。皆さん誠に有難うございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

「鮎」が大人気
私も川口町のネーム入り半天を着て応対に一生懸命、地元や都の議員達、板橋観光協会会長、町会連合会、産業連合会、商業連合会等の各会長、板橋区長、助役、高職

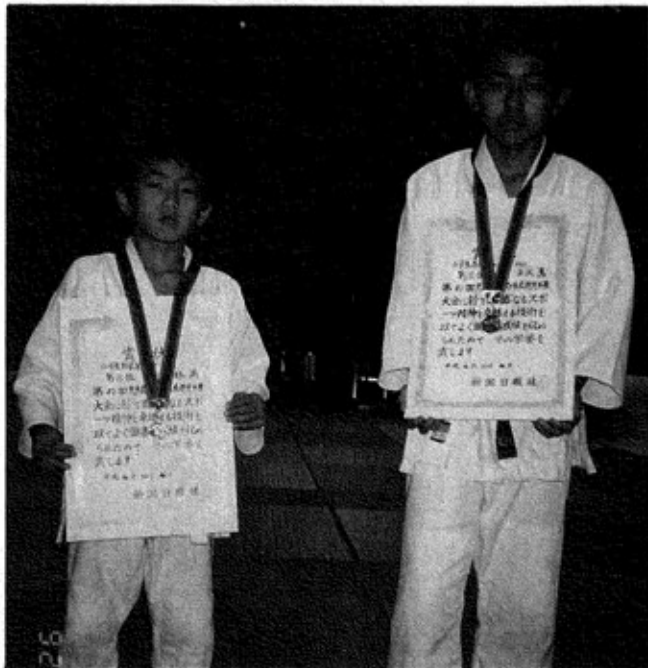
焼く鮎の香ばしい臭いに「私にも私にもちょうだい」と四時頃には焼鮎は売り切れ、明日の分はなくなってしまうほどでした。私は、渡辺さんをお案内して区民祭り全会場を駆けめぐり、盛況を視察し帰ると皆んなは上々の売り行きに汗だくで、歓喜しながら跡片づけをしており、七時閉店第一日目を終わり、明日も頑張ろうと引き上げることになり

焼く鮎の香ばしい臭いに「私にも私にもちょうだい」と四時頃には焼鮎は売り切れ、明日の分はなくなってしまうほどでした。私は、渡辺さんをお案内して区民祭り全会場を駆けめぐり、盛況を視察し帰ると皆んなは上々の売り行きに汗だくで、歓喜しながら跡片づけをしており、七時閉店第一日目を終わり、明日も頑張ろうと引き上げることになり

焼く鮎の香ばしい臭いに「私にも私にもちょうだい」と四時頃には焼鮎は売り切れ、明日の分はなくなってしまうほどでした。私は、渡辺さんをお案内して区民祭り全会場を駆けめぐり、盛況を視察し帰ると皆んなは上々の売り行きに汗だくで、歓喜しながら跡片づけをしており、七時閉店第一日目を終わり、明日も頑張ろうと引き上げることになり

焼く鮎の香ばしい臭いに「私にも私にもちょうだい」と四時頃には焼鮎は売り切れ、明日の分はなくなってしまうほどでした。私は、渡辺さんをお案内して区民祭り全会場を駆けめぐり、盛況を視察し帰ると皆んなは上々の売り行きに汗だくで、歓喜しながら跡片づけをしており、七時閉店第一日目を終わり、明日も頑張ろうと引き上げることになり

スポーツ町の宣言



▲見事三位入賞を果たした平沢(右)と小林の両くん。

新潟日報社主催の第三十回北魚沼郡・小千谷市柔道大会が、守門村須原小学校体育館で開かれ、管内の小中学生二百三十人が参加して技を競い

小学低学年の部 三位 小林 満 一年 八郎場
同高学年の部 三位 平沢 篤 六年 野田

一百三十人が参加



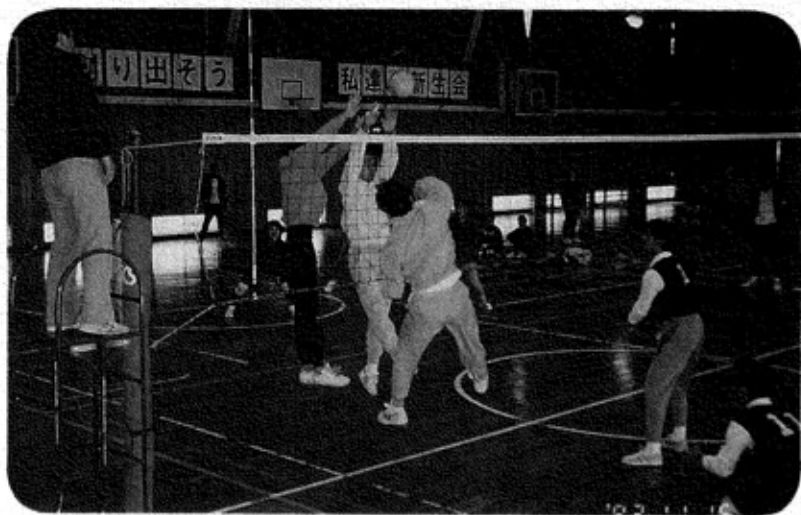
少年柔道 北魚・小千谷大会

小林 満くんが三位
平沢 篤くんが三位

ました。当町から出場のうち次の二人が入賞しました。

町民バレーボール秋季大会

優勝は 男子 ペガサス
女子 東小千谷



接戦が繰り広げられた秋季大会 九チームが参加。

平成四年秋の町民バレーボール大会は、川口中学校体育館を会場にしてこの程行われ、ペガサスと東小千谷が勝ちました。

成績は次のとおり。
一般の部 優勝 ペガサス 二位 東小千谷
女子の部 優勝 東小千谷 二位 川口 三位 中山婦人会バレー

川口町の自然

～ふるさと川口塾～

どなた様もご自由に参加してください。お待ちしております。

スライドで紹介 私たちのふるさと川口の自然について今回は学びます。植物や野鳥、昆虫、そして地質など、川口の特徴ある自然について、スライドを使ってお話いただきます。どなたでも自由に参加してください。

日 時 12月13日(日) 午後1時～3時
講 師 文化会館2階 理科センター
今井隆夫先生
申込み 12月10日まで
教育委員会へ
(八九一三一一)

正しく使おう あなたを守る110番

11月10日は「110番の日」

小千谷警察署

- 事件や事故を見たとき
- ドロボーなどの被害にあったとき
- 倒れている人がいたとき
- けんかを見たとき
- 押売りが来て困っているとき
- その他、急いで警察に知らせたいことがあるとき



こんなときは、ためらわず「110番」通報をしてください。

電話は、直接、新潟にある警察本部通信指令室につながります。あなたは、聞かれたことについて落ちついて話してください。あなたが「110番」中でも、パトカーや警察官が現場に向かっているのです。安心してください。通報が早いほど、事件・事故のスピード解決につながります。あなたの「110番」を待っています。

年金受給者が死亡したときは速やかに届け出を……

年金受給者が死亡したときは速やかに届け出を……

不幸にして、年金を受けている方が亡くなったときは、「年金受給権者死亡届」を提出しなければなりません。年金は、死亡した月の分まで支払われることになっています。この届け出が遅れると、死亡した後も続けて支払われ、過払いが生じてしまいます。この過払いとなった年金は、遺族の方に返していただく必要があります。このようなことが起こらないよう、速やかに届け出をしましょう。

◆未支給年金 死亡した方に支給すべき年金で、支給されていない年金がある場合、遺族の方は、未支給年金としてこの年金を受けることができます。請求できる遺族は、死亡したときに生計を共にしていた①配偶者、②子、③父母、④孫、⑤祖父母、⑥兄弟姉妹です。(○数字は請求者の順位) なお、死亡届の提出先等くわしいことは、町役場または、社会保険事務所にお尋ねください。

「リブ・イン川口町」 Uターン就職を応援します

ハローワークおちや、町ではUターン就職希望者の登録制度を実施しています。Uターン登録者に対しては、企業情報・求人情報及び生活関連情報の提供を行います。なお、Uターン登録の受付は、ハローワーク町及びにいがたUターン情報センター(東京都千代田、区平河町2-6-3 都道府県会館)で行っています。また、新潟県にUターンした人に対しては、Uターン後3年以内に持家住宅を取得する場合「オアシス新潟定住促進マイホーム取得資金貸付制度」の有利で利用しやすい制度があります。詳しくは、ハローワークおちや 0258-82-2441へ

母子保健推進功勞で

小西トシさん(荒屋)が受彰



小西トシさん 町母子保健推進員

このたび、小西トシさん(荒屋)が、県母子保健推進協議会から表彰されました。この表彰は、母子保健事業

の推進に尽力され、地域の保健衛生向上に貢献された方に贈られるものです。小西さんは、昭和五十六年から、町保健衛生活動推進員・母子保健推進員として、地域住民の健康管理、保健相談に献身的にあたり、地域保健の推進活動に活躍されている。今回その功績により表彰されたものです。

保健推進員の

小西のおばさんと約束!! クリーン作戦

つづけます

「荒屋部落のクリーン作戦」

川口小六年 山田浩平

多くの住んでいる川口町の荒屋部落では、毎年夏休みにラジオ体操の後に二回クリーン作戦をしています。一回目は、夏休みの中間に、二回目はラジオ体操の場所が神社のけいだいなので、お祭りが終わった後にしています。

子ども達と父兄の人達、そして保健推進員の小西のおばさんと、協力してやっています。みんながゴミ袋がいついなくなるかの、空き缶やゴミが捨てられています。どうしてこんなにゴミが落ちてくるのでしょうか。自分が出したゴミは自分で家へ持ち帰ったり、ゴミ箱に捨てることを守っていくことがとても大切だと思います。二回のクリーン作戦が終わると、保健推進員の小西のおばさんから、ごほうびにえんぴつやノートなど勉強に役立つ物と、ジュースをいただけるので、がんばりがいがあります。

おばさんと小学一年生から六年生まで、これからもずっとつづけることを約束しました。ほか、小学校に入る前から作戦は、部落の人からも大変喜ばれているので、小西のおばさんとの約束を守って、いつてほしいと思います。



川中で収穫感謝祭

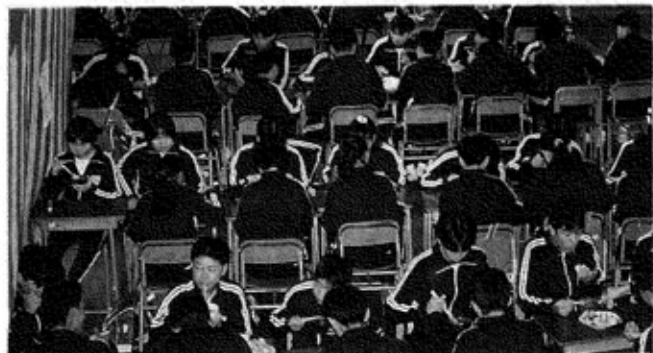
餅つき・稲作体験発表

縄ないにも挑戦

春の田打ち田植え、そして秋の稲刈、はざ架けと、生徒が一生懸命取り組んできた、学校田の収穫を祝って十一月七日(土)、川口中で収穫感謝祭が行われた。



▲モチつき



▲つきたてのモチを全員でごちそうになる。

作体験発表も行われ、初めての田打ちや手植えによる田植えなど、田仕事の大変さや楽



▲縄ない

しかったことなどが発表された。その後、刈り取った藁を使って生徒全員で縄ないに挑戦、慣れない手つきで一生懸命縄をなっていた。なお、なつた縄は、校舎の庭木などの冬囲いに使用される。

「田打ち」

三年B組
宮 貴重

僕は、初めて田打ちをやりました。家では田んぼをもっていないので、どういう作業がよく分かりませんでした。そして、三年男子全員で田んぼに行きました。

「田植えの感想」

三年A組
角張 千晴

私の家にも田んぼがありませんが今は、機械化が進み手で植えるという田植えはしませんが、小学校の経験は、五月中旬の晴れた日に、女子全員でやりました。最初は、田んぼに入るのが

きもち悪かったです。素足がぬるぬるして、とてもきもち悪かったことが一番印象的でした。でも始めてみると、割当てられた所を、いかに早くきれいに植えるかという競争になり、いつの間にか足のきもち悪さを忘れていました。中には、ころんだ人、顔などに泥が付いたりした人がいました。私はきれいに植えたつもりですが、ちゃんと稲に納まっているか心配でした。



「稲刈り」

三年C組
中 林 朗

一年生の時は草とり、二年生の時ははざかけ、今年稲刈りと、いろいろやってきま



「はざ架けをおえて」

二年A組
綱 佳人

僕たち二年生男子は、稲刈りの日、はざかけを担当しました。ぼくはこのはざかけをけ

こう楽しみにしていました。でも軍手を忘れたり、午前中走っていてトイレのドアに頭をぶついたりしたので、先生から上には登るなど言われていました。初めのうちは下で稲を運んでいたけど、そのうちどうしても上に登ってみたくなったので、上に登って、稲をかける仕事をしていました。でもすぐ見つかって下におろされました。またこっそり登って仕事をしていました。そして、また先生に見つかりました。でも先生はあきらめたらしく、もうぼくを下におろそうとはしませんでした。ぼくはとても嬉しかったです。そのくらいこの仕事はおもしろかったです。

それからは、仕事もよくなるかどってすぐ終わりました。ぼくは、楽しくはざかけの仕事ができたし、とても貴重な体験ができたと思います。



小中学校

親善音楽会

合唱と楽器演奏を披露

町内の小中学校が、親善音楽会で秋の一日を楽しみました。

音楽会には小学校五・六年生と中学の吹奏楽部が出演、各校がそれぞれに練習を重ねてきた合唱と楽器演奏を披露しあい、子どもたちは瞳を輝かせ身をのりだして音楽を楽しんでいました。

この音楽会は、教員協議会の主催で音楽部会が担当するもので今年が三十六回目。子どもたちに人気のある行事となっています。



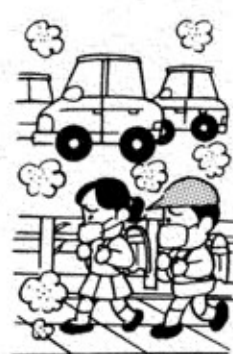
スパイクの禁止 使用

違反者に対して この冬から罰則が適用されます

スパイクタイヤの普及は、各地で大量の粉じんを発生させ、その影響と思われるのどや目の痛みを訴える人の数も年々増えていきました。

雪道や凍結した道路では高い走行性能を発揮するスパイクタイヤも、舗装道路がむき出しになればアスファルトを削り、粉じんを巻き上げる「道路の凶器」に姿を変えます。スパイクタイヤの装着率の高い地域では、横断歩道の白線表示が二週間ほどで消えてしまふといわれます。

スパイクタイヤの粉じんが生活公害としてクローズアップされるようになったのは、三つの側面があります。それは、①人体への悪い影響を与える ②住宅など生活環境を汚染する ③道路を傷める(わだち掘れ)などです。



響が心配されました。十ミクロン(百分の一ミリ)以下の粉じんは、呼吸によって肺の中に入り込みます。環境庁の実験では、長時間粉じんにさらされたネズミの肺は、全体的に黒く変色してしまうことが分かりました。

粉じんには、道路表示ペイントに含まれている鉛やクロムなども混入しています。これが、肺にたまれば、健康を脅かす重大な要因になりかねません。

そこで、市民の間からスパイクタイヤの使用を禁止しようという声が上がリ、メーカーとの話し合いにより、スパイクタイヤの製造と販売が相次いで停止されることになりました。さらに、国ではこれらを

受けて、平成二年六月に「スパイクタイヤ粉じん発生防止に関する法律」を制定しました。これによって、昨年四月からは環境庁長官が指定する地域(現在、十七道県六百七十二市町村)でスパイクタイヤの使用が禁止されました。さらに今年の厘月から(実質的にはこの冬から)は、その違反者には罰則が適用されることになったのです。罰金は十万円以下ですが、交通違反などの行政罰と違い、刑罰として処理されるので重く受けとめる必要があります。

平成五年四月から

大型車にも罰則を適用

この法律は、「国民の健康を保護するとともに、生活環境を保全する」ためにつくられた法律です。雪国の子どもたちがマスクなしでのびのびと遊ぶことができるよう、またそこに住む人たちが粉じんのない環境で暮らせるよう、違

都民版

新宿支局
渋谷区代々木
2-1-1 第7期ビル
電話 FAX
332-3333
332-3334

47年ぶりの卒業証書

世田谷戦争に消えた「夢」実現へ 弦巻小戦争に消えた「夢」実現へ

世田谷区弦巻の区立弦巻小学校は、あす二十四日に行われる創立五十周年記念式典で、戦争の混乱で卒業証書をもたえなかった第一期卒業生に証書を授与する。一期生のほとんどは今年ちょうど六十歳。「還暦のいいプレゼントになる」と喜んでいる。

「還暦のプレゼント」

当時の弦巻国民学校(現弦巻小学校)の二期生は八十四人。六年生になった昭和十九年八月、戦火が激しくなり、半数近くが当時の新堀川口村(現川口町)に疎開した。

卒業証書を作ってもらえず、代わりに「右卒業」と書かれた通知表が手渡されたという。卒業生たちの間には「母校の卒業証書がほしい」という声があふき、「当時の通知表をなくしてしまつた」という声もあふき、「一年がかりで名簿を完成させた後、今年四月には大規模な区長を訪問し、区長で証書を作ってもらえることになった。」

子の担任教師、土屋幸雄さんと女子の担任教師、海老原一さんもお出席、卒業証書授与式で教子の名前を一人ずつ読み上げる。出席者全員の名前が呼ばれた後、高橋郁朗・現校長から代表に卒業証書が手渡される。

式典には、当時、疎開でお世話になった川口町から地元を代表して高橋弘明長がお祝いに駆けつける。また、五、六年の在校生三百三十四人が授与式に出席、母校の歴史の重みについて学ぶという。

沢橋勇治校長は「在校生が先輩の歩みをたどる絶好の機会になる。子供たちの気づかないところで、母校を通じた地域交流が行われていることも知ってもらえる」と喜んでいる。

今年の十月二十三日付けの読売新聞の都民版に(新聞コピー)——大東亜戦争の戦火をのがれるために、東京の世田谷区から、当町(当時川口村)に疎開してきた当時の弦巻国民学校(現弦巻小学校)の六年生の皆さんが、晴れて正式な卒業証書を手にした——

という記事が載っていました。この記事を書かせてくれたのは、当時この疎開してきた児童と一緒に学んだり、遊んだりした関弘蔵さん(中新田)。

このニュースを見て、当時私くした所の所にも疎開してきた人たちがいたのかと、新ためて知り、びっくりする

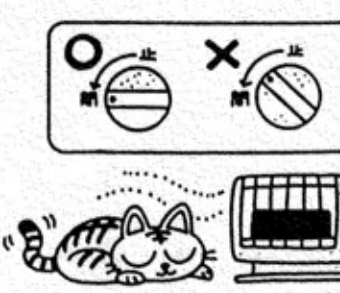
ガス使用中は必ず換気をしましょう!



ガスを使う時は、忘れずに必ず換気! これ、ガスと上手につき合うコツよね

ストーブを使う時はときどき換気を

- ストーブを使用する場合は、1時間に1回1分程度が換気の目安です。また、ストーブの器具栓はいつも全開(2段階切替は全開または半開)でご使用ください。
- 器具栓に半開の表示がないストーブは、必ず全開でお使いください。

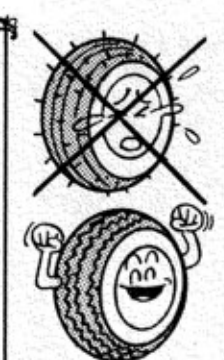


★器具の表示を確認して下さい。お届けしているガスは12A・9,700キロカロリーです。
◎ガスもれに気づいたら川口町企業課まで連絡下さい。

開放型ガスストーブを お使いの皆様へ

昨年末、県内で開放型ガスストーブ(移動式)による一酸化炭素中毒事故が発生しました。これは密閉状態の部屋で長時間にわたり開放型ガスストーブを使用したため、一酸化炭素が発生したものと推測されます。

建物の気密化で思わぬ事故が発生するおそれがあります。次のことに十分ご注意ください。



スタッドレスタイヤの 性能を最大限に引き出す

スパイクタイヤに代わる信頼性の高い冬道用タイヤとして注目されているのが、スタッドレスタイヤです。さまざまな状況下のテストでも、スパイクタイヤに引けを取らない性能が実証されています。

しかし、性能の高いタイヤを使っても、積雪時や凍結路が危険であることに変わりはありません。タイヤの性能を過信せず、その特性を十分に引き出す次のような運転原則を守ることが大切です。

①発進のときはゆつくりとアクセルを踏み、タイヤの摩擦力を十分に発揮させる。

②走行中の加・減速は緩やかに、急旋回は避ける。坂道では事前にシフトダウンし、特に下り坂はエンジンブレーキを活用する。

③急ブレーキによるタイヤのロックは車をスリッパさせ、ハンドル操作を不能にします。ブレーキをかけるときは、ペダルをゆつくり踏みましょう。

反をなくしていかねばなりません。なお、これまで適用が見送られてきた大型車についても平成五年四月からスパイクタイヤが使用禁止となり、罰則が適用されることが決定しています。